

## 2 フェーズ1システム（全国農地ナビ）の状況

### 活用例：農地集積・集約化を進めるため、農地の出し手の掘り起こしをしたい

農地の出し手を掘り起こすために、個別の農業者との相談活動をしたい。  
地域の農地の権利関係などを見ながら相談し、効率的な農地利用につなげたい。

相談相手の農業者宅などにおいて、ノートPCやタブレットにより農地情報公開システムにアクセスし、権利関係を閲覧しながら相談することが可能

